

《履修上の留意事項》【面接授業と遠隔授業の併用】

《担当者名》○内ヶ島 伸也 山田 律子 船橋 久美子 若濱 奈々子 植木 沢美（兼担） 岡橋 智恵（衛）

【概 要】

老年看護学演習は、「老年看護学」「老年病態論」で学んだ知識をふまえ、事例を使った看護過程の展開や技術演習、ディスカッションを積み重ねながら、高齢者の生活支援に必要なケアの考え方や援助技術を学ぶ。

【学習目標】

1. 加齢と疾病の影響による生活の障害を、事例をもとにアセスメントし、看護の方向性を導くことができる。
2. 高齢者の状態に合わせた援助方法を考え、実施できる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	オリエンテーション	老年看護学演習の進め方と事例について理解する	内ヶ島、船橋、若濱、山田
2	看護過程の展開① （課題学習）	情報の整理・分析 事例を使った情報整理・分析の課題ワークを実施する	内ヶ島、船橋、若濱、山田
3	看護過程の展開②	情報の整理・分析～関連図 情報の整理・分析→関連図作成のポイントを理解する	内ヶ島、船橋、若濱、山田
4	看護過程の展開③ （課題学習）	関連図 事例を使った関連図の課題ワークを実施する	内ヶ島、船橋、若濱、山田
5	看護過程の展開④	関連図～看護の焦点 関連図→看護の焦点を明確にするポイントを理解する	内ヶ島、船橋、若濱、山田
6	看護過程の展開⑤	看護の焦点～看護計画 看護の焦点→看護計画立案のポイントを理解する	内ヶ島、船橋、若濱、山田
7	高齢者の生活支援①	排泄の支援① 高齢者の状態をふまえた排泄の援助方法を理解する	土屋隼人（特別講師）、 内ヶ島、船橋、若濱、山田
8	高齢者の生活支援②	排泄の支援② おむつ体験を通して高齢者の排泄援助を考察する	土屋隼人（特別講師）、 内ヶ島、船橋、若濱、山田
9	高齢者の生活支援③	食事の支援① 高齢者の状態をふまえた食事の援助方法を理解する	植木、岡橋、山田、 内ヶ島、船橋、若濱
10	高齢者の生活支援④	食事の支援② 高齢者の口腔ケアの方法を理解する	植木、岡橋、山田、 内ヶ島、船橋、若濱
11	高齢者の生活支援⑤	活動の支援① 高齢者の状態をふまえた活動の援助方法を理解する	若濱、内ヶ島、船橋、山田
12	高齢者の生活支援⑥ （課題学習）	活動の支援② 高齢者の活動を支援する課題ワークを実施する	若濱、内ヶ島、船橋、山田
13	高齢者の生活支援⑦	コミュニケーションの支援 認知症の人とのコミュニケーションの特徴を理解する	船橋、内ヶ島、若濱、山田
14	高齢者の生活支援⑧	まとめ 高齢者の生活支援で重要な考え方を整理する	船橋、内ヶ島、若濱、山田
15	老年看護学演習のまとめ （課題学習）	老年看護の展開と生活支援に関する学びをレポートにまとめる	内ヶ島、船橋、若濱、山田

【評価方法】

演習参加姿勢・ワークシート90%、レポート10%

【備 考】

教科書 : 山田律子・萩野悦子・内ヶ島伸也・井出訓(編)「生活機能からみた老年看護過程」第3版 医学書院, 2016.
北川公子他「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学」第9版 医学書院, 2018.

その他 : 1. 演習の具体的な運営に関しては、配付される日程表等を参照すること。
2. 各単元のワークシートは、教員の指示にしたがって実施し提出すること。

【学習の準備】

1. 「老年看護学」と「老年病態論」の資料を復習しておき、各単元に関連する資料を持参すること。
2. 高齢者の生活支援における体験型学習では、事前に課された体験レポートを作成して演習に臨むこと。
3. 看護過程の展開は、事前にワークシートを作成して演習に臨むこと。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2, 3, 4

【実務経験】

内ヶ島伸也(看護師)、船橋久美子(老人看護専門看護師)、若濱奈々子(看護師)、山田律子(看護師、日本摂食嚥下リハビリテーション認定士)、植木沢美(歯科衛生士)、岡橋智恵(歯科衛生士)、土屋隼人(皮膚・排泄ケア認定看護師)

【実務経験を活かした教育内容】

高齢者看護の実務経験に基づき、臨地実習に必要な最新かつ実践的知識・技術、援助的態度を教育する。とくに、「食事の支援(口腔ケア)」は歯科衛生士が、「排泄の支援」は皮膚・排泄ケア認定看護師がそれぞれ講義を担当し、実践的な教育を行う。